

フィリピン福音自由教会 台風ヨランダによる被害状況報告 2013/11/12

フィリピン福音自由教会 会長 プリスコ師より

地震後の台風

11月5、6日に、地震の被害を受けたEFCの教会を支援するために、ホボール州に向かった。この地区にある7教会のうち4教会が被災している。前回の報告にあるように教会員の家18が全壊、2つの教会堂を含む13の家が半壊などの被害を受け、教会員や求道者の100家族がフィリピンEFCを通して救援物資を受取った。二人の信徒リーダーが重傷を負い治療中。

この11月5、6日の2度目の訪問の際に、教会堂や教会員の家を修理するために資材を購入するために必要な現金を渡した。しかし、その二日後の11月8日に大型台風ヨランダにより、他の地域が破壊的な被害を受けた。

台風ヨランダとフィリピンEFC諸教会

台風ヨランダが通過したFF州の教会は、北サマール地区1教会、東サマール地区5教会、南レイテ地区1教会、イロイロ地区2教会、ネグロスオッシデンタル地区1教会、パラワン地区2教会。セブ、ボホール、ネグロスオリエンタル州も被災したが、大きな被害はなかった。

東サマール地区は、深刻な被害を被っていて、(11/12現在)今もなお連絡が取れずにいる。台風ヨランダによる最初の土砂崩れは、レイテ島タクロバン市の東に位置する東サマール地区のギアン町に発生。東サマール地区のEFCの働きの中心となっているサム・アベリア牧師は、このギアン町の近くのヘルニア町に住んでおり連絡が取れていない。公の報告ではないがヘルニア町の二人の教会員が死亡したと聞いている。東サマール地区の2つのEFCの教会はボロガン市のあり東サマールEFCも大きな被害を受けていると思われる。

また、レイテとパラワンEFCの相当数の会員の家々が崩壊したという報告を受けている。他の州(地域)からは、まだ大きな被害の報告は入っていない。

諸協会の関係者と親類

EFCの関係者の友人や親類にも台風の被害者の多数いる模様。多くは他のグループの信者や未信者であり、レイテ島に住んでいる。

支援計画

- 1、 至急、サム・アベリア師と連絡を取る必要がある。
- 2、 レイテ、サマール地域を訪問する。
(現在は、暴動や略奪などの犯罪もあり、安全に通過できるようになるのを待つ必要がある)
- 3、 レイテ出身のセブEFCの牧師数人が親類を訪問しているので、間もなく新しい情報を伝えてくれる模様。緊急救援物資を購入。
- 4、 EFCと他のグループの教会のために、救援物資の配分のため委員会を組織する
- 5、 フィリピンEFCの口座を通して支援金を受け入れる。